平成25年7月19日

各位

会 社 名　株式会社　日本取引所グループ
代表者名　取締役兼代表執行役グループCEO　斉藤　惇
（コード 8697　東証第一部）
問合せ先　広報・ＩＲ部長　　多賀谷　彰
（ＴＥＬ　（03）3666－1361）

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本年４月30日に開示しました平成26年３月期（平成25年４月１日～平成26年３月31日）の第２四半期累計期間及び通期の連結業績予想、本年６月３日に開示しました平成26年３月期の第２四半期末及び期末の１株当たり配当予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

１．平成26年３月期第２四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり四半期純利益（※）
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	43,500	11,500	12,000	6,500	23.68
今回修正予想（Ｂ）	58,000	24,000	25,000	15,000	54.64
増減額（Ｂ－Ａ）	14,500	12,500	13,000	8,500	
増減率（％）	33.3%	108.7%	108.3%	130.8%	
（参考）前期第２四半期連結実績（平成25年３月期第２四半期）	―	―	―	―	―

※ 平成25年６月３日付で開示いたしました「株式分割並びに株式分割に伴う定款の一部変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は、平成25年９月30日を基準日（平成25年10月１日を効力発生日）として１株につき５株の割合で株式分割を行いますので、当該株式分割を考慮して、１株当たり当期純利益を算出しております。
なお、当該株式分割による株式総数の増加を考慮しない場合の１株当たり四半期純利益について、前回発表予想は118円38銭、今回修正予想は273円19銭となります。

２．平成26年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益（※2）
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	87,000	23,000	24,000	13,000	47.35
今回修正予想（Ｂ）	101,500	36,500	38,000	22,000	80.14
増減額（Ｂ－Ａ）	14,500	13,500	14,000	9,000	
増減率（％）	16.7%	58.7%	58.3%	69.2%	
（参考）前期連結実績（平成25年３月期）（※1）	71,708	19,555	21,631	10,941	（※3） 64.59

※１ 前期連結実績は、株式会社東京証券取引所グループの平成24年12月末までの連結実績に、平成25年１月１日以降の株式会社日本取引所グループの連結実績を合算した数値です。（「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離

等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 10 号 平成 20 年 12 月 26 日）に基づき、株式会社大阪証券取引所の上半期の業績は含まれません。）

※２ 当社は、平成 25 年９月 30 日を基準日として１株につき５株の割合で株式分割を行いますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前期及び当期の１株当たり当期純利益を算出しております。

※３ 経営統合以前の期間を含む平成 24 年４月１日から平成 25 年３月 31 日における期中平均株式数（169,405,780 株）を基に算出した１株当たり当期純利益は 64 円 59 銭となりますが、経営統合以降の平成 25 年１月１日から３月 31 日における期中平均株式数（274,534,550 株）を基に算定した１株当たり当期純利益は、39 円 85 銭となります。

３．修正の理由

金融緩和強化への期待感や円安の進行等を背景に景況感が改善し、市場が活況を呈している状況を踏まえ、平成 25 年４月 30 日付で公表した「平成 25 年３月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」(以下、「前回公表資料」といいます。）に記載した連結業績予想数値の前提となる通期の１日平均の売買代金・取引高について、株券（※１）を２兆 3,000 億円（前回公表資料比 7,000 億円増)、長期国債先物取引を 40,000 単位（同変更無し)、ＴＯＰＩＸ先物取引を 91,000 単位（同 10,000 単位増)、日経平均株価先物取引（※２）を 212,000 単位(同 35,000 単位増)、日経平均株価オプション取引を 410 億円（同 90 億円増）に見直すこととし、上記のとおり、第２四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたします。

※１ 東証市場第一部・第二部、マザーズ及びＪＡＳＤＡＱ市場並びにＴＯＫＹＯ ＰＲＯ Ｍａｒｋｅｔに係る売買代金（立会内外並びに旧大証市場第一部・第二部を含む）。

※２ 日経225ｍｉｎｉ先物取引の取引高は、日経平均株価先物取引における取引高へ換算。

４．配当予想の修正について

当社は、取引所としての競争力強化と自主規制機能の向上のためのシステム開発や清算機関としてのリスクへの備えを目的とした内部留保の重要性に留意しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施することを基本とし、具体的には、連結配当性向を 40%程度とすることを目標としております。

上記の方針のもと、平成 26 年３月期の第２四半期末及び期末の１株当たり配当予想について、今回の連結業績予想の修正により当期純利益の増額が見込まれることから、以下のとおり修正いたします。

	年間配当金（円）		
	第２四半期末	期　末（※）	合　計
前回予想（平成 25 年６月３日公表）	45.00	10.00	―
今回修正予想	80.00	16.00	―

※ 平成 25 年９月 30 日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、１株につき５株の割合をもって分割いたします。なお、今回修正予想における当該株式分割による株式総数の増加を考慮しない場合の期末配当金額は１株当たり 80 円となります。

ご注意：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以上